

まちづくり交付金 事後評価シート  
流山市新市街地地区

平成20年12月

千葉県流山市

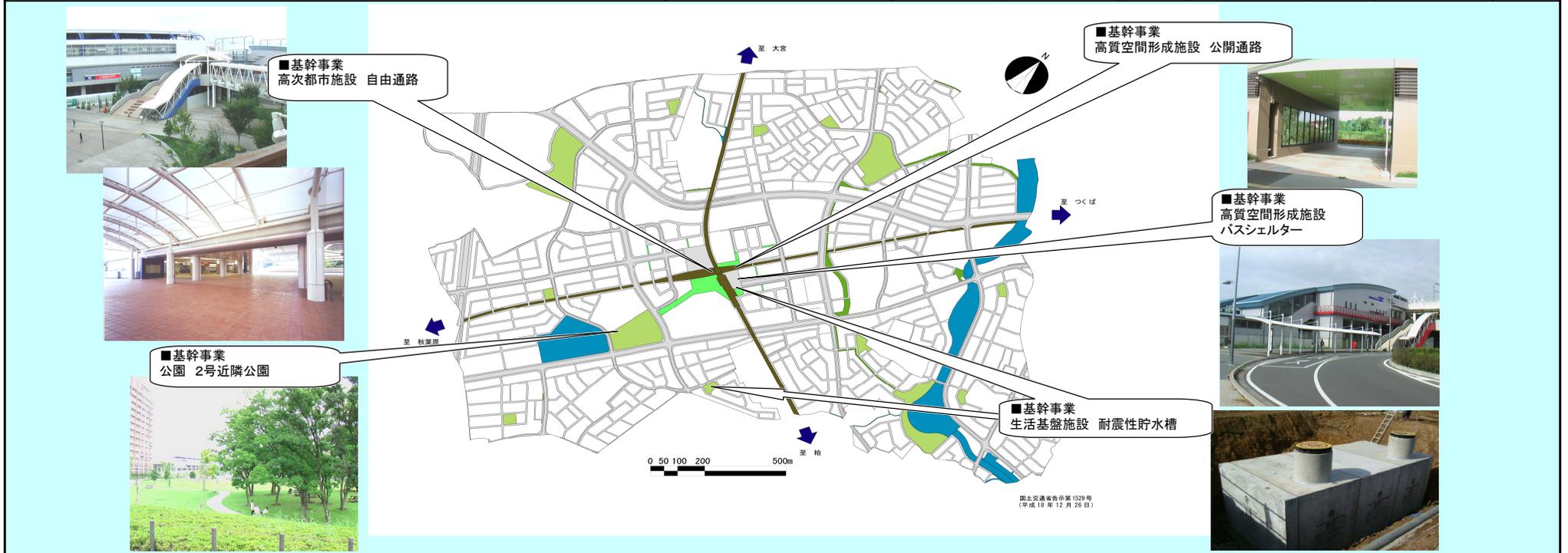
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県		市町村名	流山市		地区名	流山市新市街地地区			面積	298.7			
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	910百万円	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 公園(2号近隣公園整備)、高質空間形成施設(公開通路)、高次都市施設(自由通路)											
		提案事業	なし											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名	削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	なし	なし				なし						
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設(バスシェルター2基) 地域生活基盤施設(耐震性貯水槽2基)	・つくばエクスプレスの流山おおたかの森駅開設に伴い増加する路線バス、タクシー及び送迎車による利用者の利便性向上を図るため、駅前広場に停留所、待合所にバスシェルターを整備する。 ・耐震性貯水槽を設置したことにより、災害時の地域防災向上する。				バス利用者の利用数増加						
		提案事業		なし				なし						
交付期間の変更	当初変更	平成16年度～平成19年度 平成16年度～平成20年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			影響なし								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	地区住民1人当たりの公園緑地面積	㎡	0.2	H16	3.1	H20	モニタリング	評価値	3.4	○	あり なし	・駅前広場と連続緑の拠点が整備され、地区外の利用者の交流や憩いの場として活用されている。	
	指標2	地区内人口	人	4,000	H16	6,800	H20		6,164	△	あり なし	●	・土地区画整理事業の進捗、駅を中心とした諸施設の整備に伴い、マンションや住宅の建設が進み、人口の集積が進んでいる。	平成21年9月頃
	指標3	地区内の歩行者の移動所要時間	分	13	H16	6	H20		6	○	あり なし		・自由通路の整備により、区間移動や鉄道乗り換えの利便性が向上した。	
	指標4	バス等の利用者数	人	150	H17	300	H20		1,469	○	あり なし		・つくばエクスプレス開業から順次バス路線が開通され、バスシェルターを設置したことにより雨天等にバスを待つ利用者の利便性向上が図られた。	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	鉄道利用者	人/日	25,961	H17			モニタリング	評価値	45,683		あり なし	・駅周辺と自由通路の施設整備を行ったことにより、利用者や人口の増が図られる。	
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況	<p>・本事業により、駅を中心として、公園、自由通路などまちづくりの拠点が整備された。</p> <p>・自由通路、駅前広場、公園と連続するオープンスペースは、イベント開催などの交流の場、憩いの場として利用活性化にも大いに寄与している。</p> <p>・新たなまちの魅力として印象付けられ、まちづくりの先導的役割を果たしている。</p> <p>・2号近隣公園の定期清掃や南口都市広場や未利用地及びフラワーポット等の植栽について地域住民による管理が行われている。</p> <p>・自由通路、公開通路を小学生の通学路として利用しているが、地域の自治会が中心となり登下校時などのパトロールが実施されている。</p> <p>・地区内に安心安全まちづくり協議会が組織されCAPプログラムなどが実施されている。</p>													
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等		
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた				なし			
	住民参加プロセス	・平成20年度から2号近隣公園については、地元自治会と委託契約を結び、管理や清掃について委託をしている他、駅前広場において花の植込みを地域住民のボランティアで行われている。 ・また、当該地区の商業事業者、鉄道会社、大学、地権者が中心となって「安心・安全まちづくり協議会」を設立し、防犯まちづくり、子育て支援の取り組みが行われるなど、新たな街における良好なコミュニティの形成に向けた市民協働のまちづくりが推進	都市再生整備計画に記載し、実施できた				●				平成20年度から2号近隣公園については、地元自治会と公園の維持管理を委託しており、今後も継続して委託していく予定である。			
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●							
都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった														
持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた				なし				

## 様式2-2 地区の概要

### 流山新市街地地区(千葉県流山市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 周辺に残る自然林等の環境資源を活用しながら、都市と自然が共存する、「アーバンバストラル」をテーマとした流山市の中心となる快適なまちづくりを行う。 目標1: 新たな市街地の顔となる緑の空間の創出を行う。 目標2: 市の中心となる便利で快適なまちづくりを行う。	地区住民1人当たりの公園緑地面積	単位: $\text{m}^2/\text{人}$	0.2 H16	3.1 H20	3.4 H20
	地区内の人口	単位: 人	4,000 H16	6,800 H20	6,164 H20
	地区内の歩行者の移動所要時間	単位: 分	13 H16	6 H20	6 H20
	バス等の利用者数	単位: 人	150 H17	300 H20	1,469 H20



**まちの課題の変化**

- ・つくばエクスプレスの開業と本事業により、新たなまちの顔が整備された。
- ・駅の自由通路は交通バリアフリー法に基づいた整備がされ、鉄道により分断された地域間の往来や鉄道利用など、利便性向上が図られた。
- ・また、駅、商業施設、駅構内店舗、市役所出張所との連絡が円滑になり、賑わいの空間が生まれ活性化されている。
- ・2号近隣公園が整備され、都市広場と連結したことで、憩いと交流及び出会いの場として活用されている。
- ・東口駅前広場にシェルターが整備され、バス・タクシー等の利用者が乗降や待合する際に、快適な活用がされている。
- ・耐震性貯水槽が整備され、地域の防災機能が向上した。
- ・流山おおたかの森駅中心に施設整備が行われ、また、商業店舗がオープンしたことに伴い、地域住民のコミュニケーションが芽生え、安心・安全まちづくり協議会の組織による小学校児童の登下校時の見守りやポケットパークの管理など自主的なまちづくりが推進されている。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- ・新たなまちとしての魅力を高めるため、グリーンチェーン戦略や景観条例、地区計画に基づき緑豊かで良好な都市環境の形成を目指す。
- ・そのため、公園整備、公共空間や宅地の緑化を推進するほか、商業・業務施設の立地を誘導し賑わいの創出を図るとともに、公共施設・文化施設の整備を進める。
- ・また、西口の駅前広場を早期に整備し、円滑な交通環境を確保することにより、送迎車の利用やコミュニティバス、民間路線バスの導入など、一層の交通利便性の向上が推進し、地域内の住宅建設が促進されることにより、居住人口の増加に寄与する。
- ・一方、地域住民のまちづくり活動について支援をすることなどにより、今後既存の住民と新たに入ってくる住民の良好なコミュニティの育成を図る。